

父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2010年度 第2号/2010年6月12日発行

発行責任者: 高山 943-2616 ・ 中島 932-3447

表面: 総会の報告 (ご来賓・2010年度父母連事務局役員)

裏面: 5月7日「子ども未来部保育課事業説明会」のご報告・アンケートのお願い



5/16(日)「第25回草加市保育園父母連総会」報告

5月16日(日) 10:00~12:00 勤労福祉会館ホールにて、「第25回草加市保育園父母会連合会総会」を開催いたしました。お忙しい中、木下草加市長をはじめ15名の来賓の方々や、18公立保育園父母会の新旧役員の方など、計100名の方々にご出席いただき、誠にありがとうございました。また、保育はあさひ保育園をお借りし、10名の保育士の先生方に行っていただきました。いつも保育を支えていただいていますことに、心より感謝申し上げます。

昨年9月に民主党政権が発足し、「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズの下、子ども手当を創設されました。また「新待機児童ゼロ作戦」を掲げた「安心こども基金」の造成による保育所の整備事業など、私たちを取り巻く子育て環境は目まぐるしく変化しています。

このような状況の中、本総会の来賓挨拶では、現在の草加市が抱えている待機児童の問題等をどのように打開して行くか?の問題提起とともに、次のようないくつかの問題解決の視点をいただきました。■保育ニーズが高まる中、公立保育所に限らず、保育事業の多様性について検討し、行政と市民が一体となって協議していくことが大切である。■国の制度が目まぐるしく変わる中でも「子育て環境の整備」については、草加市独自の保育制度として現場の声を反映させながら、考えていかなければならない。

これらのお話を伺い、まずは待機児解消を優先としながらも、保育の質と量のバランスに目を向け、皆様とともに知恵と力を合わせながら、より良い子育て環境作りのために積極的に活動していかなければ、と感じました。

なお、議事では、2009年度活動総括・報告・決算、2010年度活動方針・予算・新事務局員が無事に承認されましたので、ここにご報告いたします。

<2010年度の父母連活動方針の特徴として、大きく次の三点が確認されました>

- ① 草加市の保育水準を後退させず、かつ、子どもの保育環境に配慮した待機児童解消のあり方について、早急に具体的な提言をしていくこと
- ② 厚生労働省“社会保障審議会少子化対策特別部会”提案による「新制度(保育における自治体責任の後退・直接契約・応益負担等)」についての学習会を行い、父母連としての考えを明らかにしていくこと
- ③ 草加市が提示する『草加市における0歳児保育施設の整備方針』について、現場の意見を取り入れたより実効性のあるものとなるように、改善を求めていくこと

*総会資料は、2009年度の父母連活動や2010年度の方針に関する大切なものです。皆さん是非目を通して下さい。

<ご来賓>

- 草加市長: 木下博信 様
- 県議会議員: 山川百合子 様
- 県議会議員: 蒲生徳明 様
- 市議会日本共産党議員: 齊藤雄二 様
- 市議会日本共産党議員: 大野ミヨ子 様
- 市議会民主党議員: 関一幸 様
- 市議会民主党議員: 新井貞夫 様
- 市議会平成クラブ議員: 石村次郎 様
- 市議会自由市民クラブ議員: 瀬戸健一郎 様
- 草加市家庭保育室連絡会会長: 菅原美加 様
- NPO法人草加・元気っ子クラブ代表理事: 小池奈津夫 様
- 草加市学童保育の会会長: 青木郷子 様
- 草加市子ども未来部部长: 新井誠 様
- 草加市子ども未来部保育課長: 萩原幸江 様
- 草加市職員労働組合保育部会: 須藤久美子 様

ありがとうございました!!

★2010年度父母連事務局新役員★

- 会 長 : 高山幸一郎(しんぜん保)
- 副会長 : 村松聖子(きたや保OB)・中島幸代(しのは保)
- 事務局長: 浜藺浩美(せざき保)
- 事務局員: 青木美代子(さかえ保)、重松友美(せざき保)
鳩間志津代(やつかかみ保)
阿部善子(やつか保OB)・田村滋章(あずま保OB)・
- 会 計 : 段 和志(あずま保)、長谷部恭子(こやま保OB)
- 会計監査: 金谷美代子(あずま保OB)

前年度に引き続き父母連の会長を務めることになりました、高山幸一郎です。私自身は2年前に上の息子を無事保育園から卒園させ、現在は下の娘(4才)との「保育園ライフ」です。父母連事務局として活動するようになってから、草加の保育園がいかに素晴らしい実践をしているかを再認識しています。裸足でのびのび育てる保育、自園直営方式のおいしい給食(完全給食は目指したいですが)、作物を育てて収穫して食べるという「食育」の実践…他自治体と比較してもとても質の高い保育内容となっていて、本当にありがたいです。一方で、父母連でいろいろ学習するうちに、草加だけでなく、全国の保育をとりまく情勢が大きく変わろうとしていることもよく分かりました。政府は「子育て重視の政策」を掲げていろいろな施策を模索していますが、それらはこれまでの保育制度を根幹から変え、「自主選択」という名目で保育自体を「自己責任」の形で私たち保護者に責任転嫁しようとしている面もあるのです。私たち保護者がしっかり知識を身につけ、この素晴らしい草加の保育実践を守っていきたくと思っています。どうぞよろしくお願いします。

5月7日(金) 19:00~

「平成22年度子ども未来部保育課事業説明会」(中央公民館にて)のご報告!

主に待機児対策に関することと、0歳児保育施設の整備方針の詳しいお話がありましたので、ご報告します。

＜参加者＞ 草加市：新井子ども未来部長、大澤副部長、萩原課長、福田課長補佐、藤田課長補佐
父母連：父母連事務局・各父母会役員を中心に約40名。
今年度は広く呼び掛け、家庭保育室・子育て支援団体からも14名の参加がありました。

*多くの保護者のみなさんのご参加ありがとうございました。*保育は、園長先生方が担当して下さいました。ありがとうございました。

1. 待機児童対策について：以下、子ども未来部大沢副部長(前保育課長)による説明

①公立保育園の定員の弾力化

昨年度待機児童対策として20~25%の定員の弾力化(保育園の定員を超えて、入園を受け入れること)が行われた。今年度は待機児が過去最高で、4月時点で250人を超える状態であり、「緊急・応急対策」として、1人当たりに必要な施設面積の確保や保育士配置基準を遵守した上での、さらなる定員の弾力化を図っていくことを、ご理解いただきたい。

②民間保育推進事業

国で待機児解消対策として2700億の補正予算がついた。この予算は公立保育園は対象とならず、民間保育園対象のため、草加でも緊急に民間保育所の整備計画を進めている。すでに開設が決定している「仮称：草加なかよし保育園」(H23年4月開園予定、定員80名、0~5歳対象、谷塚地区)に加え、6つの民間保育所を3年間で新設(または既存の認可外保育園の利用)する計画案を立てている。これによって、待機児童の解消・定員の弾力化の解消などのメリットが考えられる。しかし市の財政が厳しい中、国と県からの補助を受けて保育園を新設しても、運営費として年間1億3800万の運営費を市が負担しなくてはならない。この運営費用をどのように生み出すかが、最も重要な課題であり、父母連のみなさんにも方法を模索していただきたい。

2. 0歳児保育施設の整備方針について：以下、福田保育課長補佐による説明

0歳児の待機児童は、20年度末には125名にまで増えた。0歳児のよりよい保育を目的として、小規模認可保育所や家庭保育室のなお一層の充実を図ることにより、今後0歳児保育についてはこれらの施設に移行していく(0歳児の待機児童がなくなる限りは公立園の0歳児は廃止しないという昨年の市長の約束は前提としてある)。ただ、育成対象の児童など、小規模保育施設での保育が困難な0歳児のために、一部公立保育園の敷地内に0歳児保育クラスを設けることを検討する必要がある。

保育内容の充実として、家庭保育室と公立保育園の連携も行う。具体的な連携内容についてはイベントの合同実施等6つの項目を方針として挙げているが、(参加者からの質問の回答として)保育園や保護者、家庭保育室からの意見が出たら取り入れていきたい。

(家庭保育室からの質問の回答として)現在は民間保育所の新設が一番の優先事項となっており、各民間保育所には運営安定の都合上0歳児クラスを設置するため、家庭保育室の増設については休止と考えている。

3. 22年度保育事業の説明

①幼稚園預かり保育推進：21年度実績7園、22年度目標は9園としている。長期休業日の預かり保育を行う幼稚園に対して助成を行い、預かり保育の充実と実施の促進を図っていく。

②保育施設整備事業：今年度はしんぜん、にしまち、あおやぎ、あさひ保育園の保育室等の改修改善を行う。にしまち保育園の排水設備改修も行う。

③さかえ保育園建替事業：3月23日から新園舎で保育を行っている。今年度は旧園舎の解体と園庭を含む外溝工事を行う。さかえ保育園の別棟の0歳児クラスを使って、施設型の病後児保育を計画していたが、引き続き0歳児クラスが続行されることになったため、計画は凍結した。

＜父母連事務局 感想＞

今年度は広く保育に携わる方々にも呼び掛けさせていただき、充実した説明会を開催していただけたことを感謝しております。待機児童解消のための策や0歳児保育のあり方について市の意見を聞くことができ、緊急に何とかしなくてはという市の姿勢を感じることができました。早急な対応は必要ですが、保護者の負担に頼らないしっかりとした財源の確保がなされ、保育の質の低下などが起こらないよう、父母連としても働きかけていきたいと感じました。

☆☆父母連アンケートご協力のお願い☆☆

今年度も毎年恒例の「父母連アンケート」を取りまとめたいと思います。みなさんが日頃感じている、保育園や子育てについての願いや心配、要望などを教えてください。みなさんからのご意見やご回答にもとづいて、父母連の今後の活動の方向性や市への要望等につなげていきます。

記入していただきましたら、各父母会のポストへ入れていただくなどして父母会単位で集めて集計した後、父母連事務局に届けていただくようにします。

(保護者の願いを草加市に伝えるために、多くの回答が必要です!!)

よろしく願いいたします。

